

法人向けWeb会議用  
USB カメラ/サウンドバー

**VB350**

ユーザーマニュアル



## 警告:

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

## 免責事項

このドキュメントの内容、その品質、パフォーマンス、商品性、または特定の目的への適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行われません。このドキュメントに記載されている情報は、信頼性について注意深くチェックされています。ただし、不正確な点については責任を負いません。このドキュメントに含まれる情報は、予告なしに変更される場合があります。

AVer Information Inc.は、この製品またはドキュメントの使用または使用不能に起因する直接的、間接的、特別、偶発的、または結果的な損害について、そのような損害の可能性について知らされていたとしても、いかなる場合も責任を負いません。

## 商標

「AVer」は、AVer Information Inc.が所有する商標です。説明目的で使用される他社の商標は、それぞれの会社のみ帰属します。

## 著作権

©2022 AVer Information Inc. All rights reserved. All rights of this object belong to AVer Information Inc. 当社の事前の許可なしに、いかなる形式または手段によって本紙を複製または送信することは禁じられています。

本紙の情報または仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。

■仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。本紙の情報は参照のみを目的としています。

■本紙の内容は事前通知なしに変更される場合があります。表記内容に誤りがある場合はご連絡ください。

# 警告・注意

・火災や感電防止のため機器を雨や湿気にさらさないでください。

製品に不正な変更が加えられた場合、製品保証は無効となります。

・カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。

・カメラの損傷を防ぐため、正しい電源電圧を使用してください。

・コードを踏む可能性のある場所にカメラを置かないでください。リードやプラグが損傷する可能性があります。

・カメラ底面部を両手で持ち、カメラを動かしてください。カメラを動かす際にカメラ回転部を手で持たないでください。

## リモコンの電池の安全性に関する情報

-電池は涼しく乾燥した場所に保管してください。

-使用済みの電池をゴミ箱に捨てないでください。使用済み電池は各自治体に定められた廃棄方法で適切に廃棄してください。

-長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。電池の液漏れや腐食により、リモコンが損傷する可能性があります。

-古い電池と新しい電池と一緒に使用しないでください。また、アルカリ乾電池、標準電池(炭素亜鉛)、充電池(ニッケルカドミウム)など、さまざまな種類の電池を混ぜて使用しないでください。

-電池を高温の場所や炎に近付けないでください。

-バッテリー端子をショートさせないでください。

# 目次



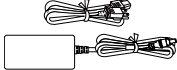
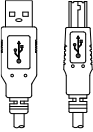



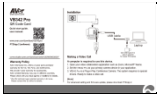
パッケージ同梱物.....	1
オプション販売品 .....	2
製品概要 .....	3
各部名称 .....	3
状態表示 LED .....	4
操作リモコン.....	5
ボタン長押しによる機能呼び出し.....	6
機器の配線 .....	7
周辺機器との配線.....	7
DISPLAY LINK 機能を使用するには .....	8
イーサネット接続 .....	10
増設マイク(別売品)の接続 .....	11
増設マイク(別売)の操作方法 .....	11
増設マイクスピーカー(別売品)の接続 .....	12
増設マイクスピーカー(別売)の操作方法 .....	13
① マイクミュート解除ボタン .....	13
② 状態表示 LED .....	13
③ ボリューム調整ボタン .....	13
壁掛けマウント(同梱品)での設置 .....	14
TV サイズ VESA 取り付けマウント(別売品)での設置 .....	16
カメラの操作 .....	20
WEB 会議を行うには.....	20
WEB ブラウザから WEB 管理画面にアクセスする.....	20
WEB 管理画面からの操作 .....	24

初回ログイン	24
Web 管理画面からのカメラ操作	25
プリセットの登録・呼び出し	26
カメラ設定	27
追跡モード	28
カメラ移動速度	30
フレーム調整速度	30
フレーミングサイズ	30
Audio Tracking インターバル時間	31
会話モード 感度設定	31
ジェスチャーコントロール	32
ホームポジション	35
プリセット保存	35
カメラ映像設定	36
フリップ(上下反転)	36
ミラー(左右反転)	36
WDR	36
IFP/モニターのフリッカー低減	36
周波数	37
ホワイトバランス	37
ノイズリダクション	37
明るさ	37
シャープネス	38
彩度	38
低照度補正	38
低解像度モード(720p 以下)	39
最大 18 倍ズームを有効にする	39
ビデオフレームレート	39
RS232	40

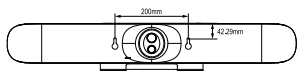
ビデオフォーマット.....	40
H.264.....	40
IP ストリーム解像度.....	41
フレームレート.....	41
ビットレート.....	41
RTSP.....	42
RTMP.....	42
ネットワーク.....	43
Hostname.....	43
ネットワーク.....	43
システム.....	44
言語.....	44
ファームウェア更新.....	44
工場出荷時の値に戻す.....	45
カメラ再起動.....	45
パスワード変更.....	46
SSL 証明書.....	47
Displaylink.....	47
日付形式.....	47
時刻形式.....	47
NTP を有効にする.....	48
匿名利用データの提供を許可.....	49
情報.....	49
オーディオ.....	49
ノイズ低減.....	50
ビームフォーミングマイク.....	50
AGC(自動ゲイン調整).....	50
エコーキャンセル.....	50
キーボード音低減.....	51

PHONE IN 端子 .....	51
ROOM MANAGEMENT のインストール.....	52
ソフトウェア ROOM MANAGEMENT を使用する .....	52

# パッケージ同梱物

VB350 カメラ本体	赤外線 操作リモコン	電源アダプタ・ 電源ケーブル	USB ケーブル(約 3m/USB 3.0 Type-B オス・Type-A オス)
			
USB 変換アダプタ (Type-A メス・Type-C オス)	壁掛けマウント	三脚穴用固定ネジ・2 個	QR コードカード
		 1/4"~20 L=7.5mm	

## 壁穴あけ加工用台紙



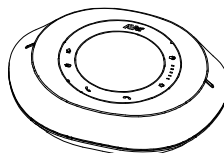
- \* 電源コードのプラグ形状は販売される国や地域により異なります。
  - \* 本製品同梱の電源ケーブルは、本製品同梱の電源アダプタでのみ使用してください。
- 本製品同梱の電源ケーブルは、他の電気機器では使用できません。

## オプション販売品

増設マイク  
(同梱ケーブル 10m または 20m を選択)



増設マイクスピーカー  
(同梱ケーブル 10m または 20m を選択)



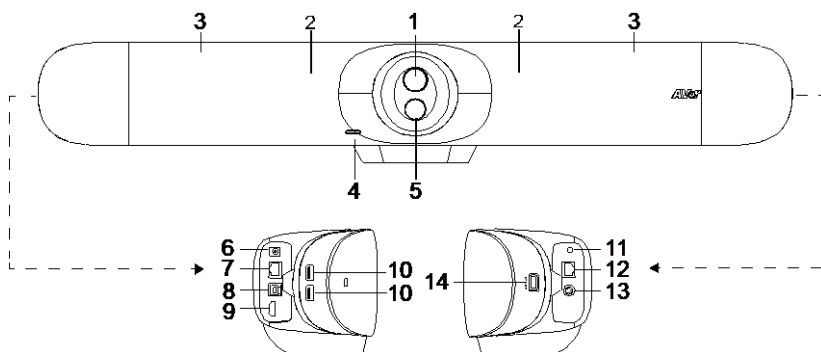
TV サイズ VESA 取り付けマウント



\*オプション販売品の取り扱い、販売される国や地域により異なります。

# 製品概要

## 各部名称



- |                                |                                   |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| (1) ズームレンズ                     | (9) HDMI 出力端子(TV 接続用)*            |
| (2) 赤外線受光部                     | (10) USB 2.0 Type A 端子            |
| (3) 集音マイク (合計 14 基内蔵)          | (11) PHONE IN 入力 / AUDIO OUT 端子** |
| (4) 状態表示 LED                   | (12) 増設マイク(マイクスピーカー用)端子           |
| (5) 固定レンズ                      | (13) RS232 Port                   |
| (6) DC 12V 電源差込口               | (14) USB 2.0 端子 (使用できません)***      |
| (7) 通信用イーサネット端子 (RJ-45)        |                                   |
| (8) USB 3.0 Type B 端子 (PC 接続用) |                                   |

\* PCを本機のUSB3.1(Gen1)端子に接続することでHDMIアダプタとして使用できます。テレビ/モニターでのHDMI出力4K解像度をサポートします。

\*\* デフォルトはPHONE INで動作します。AUDIO OUT機能を使用するには、Room Managementからの設定が必要

です。またAUDIO OUT変換ケーブル(TRSメス-TRSオス、別売)による接続が必要です。

\*\*\* 使用できません。

## 状態表示 LED

電源オン: 青色に一回点滅

起動中: 赤点灯

電源オン(USB 接続なし): オレンジ点灯

電源オン(USB 接続あり・デバイス待機中): 白点灯

カメラ映像と音声出力中: 青点灯

通話呼出中: 白または青で高速点滅

カメラ映像出力中(通話中)のマイクミュート: 赤点灯

保留中: 白、青、または紫の高速点滅

### ジェスチャーコントロール

・青色 2 秒間点滅: ジェスチャーコマンド受付可能状態

・青色 4 秒間点滅: 認識したジェスチャーコマンドのアクションを実行中

#### [注意]

・ジェスチャーコントロールはデフォルトでは無効です。Room Management アプリまたは Web 管理画面から有効にすることができます。

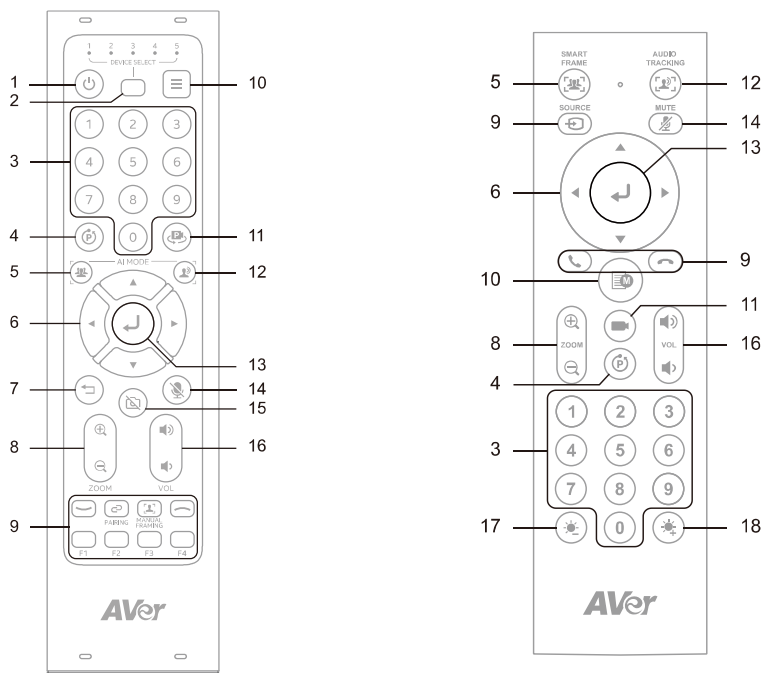
・ジェスチャーコマンドを認識できる有効距離は、カメラから最大約 4m です。




・映像出力解像度が<sup>6</sup> 1080p/30fps 以上の場合、ジェスチャーコントロール機能は使用できません。

・ジェスチャーコントロールの詳細については、<[Gesture Control](#)>の項目を参照してください。

## 操作リモコン






下図いずれかのリモコンが付属します。※2024年10月出荷分より、左側リモコン同梱リモコンの使用には単4電池が2個必要です。単4電池は製品に付属しません。



名称	機能
1. Power	使用しません
2. DEVICE Select	使用しません
3. 数字ボタン	■プリセット保存:プリセットボタン  を長押し後、数字ボタン(0~9)を短押し
4. Preset	■プリセット呼出:プリセットボタン  を短押し後、数字ボタン(0~9)を短押し
5. Smart Frame	ボタンを押すと、自動画角調整(フレーム調整)を実行 [注] 自動画角調整の機能動作時に画面上に表示される  アイコンは、ソフトウェア Room Management の設定項目にて、設定>オンスクリーンメニュー>OFF で非表示にできます。
6. 方向キー	カメラの左右パン・上下チルト操作
7. Back	使用しません

8. Zoom In/Out	カメラのズームイン・アウト操作
9. Function Buttons	使用しません
10. Menu	使用しません
11. Load Preset	使用しません
12. Audio Tracking	ボタン長押し: 音声追尾モードの切り替え (Audio Tracking > Audio Framing > Presentation Mode > Audio Fence > Off)
13. Enter	現在動作中のモードを表示
14. Mute	マイクのミュート/ミュート解除
15. Camera Off	使用しません
16. Volume	スピーカー出力音量を調整(+/-)
17. Brightness -	カメラ映像の明るさ(-)
18. Brightness +	カメラ映像の明るさ(+)

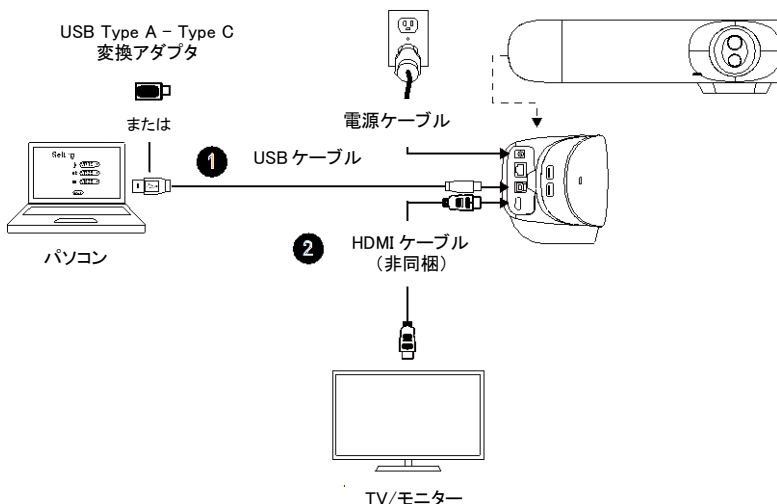
### ボタン長押しによる機能呼び出し

長押しを行うボタン	呼び出し機能
 2 秒長押し	ワイドダイナミックレンジ(WDR) 機能のオン・オフ 切り替え
 2 秒長押し	Smart Frame 機能のオン/オフ 切り替え
 2 秒長押し	RTMP 配信の開始・終了 切り替え
 2 秒長押し	USB 出力がない状態でのスリープ有効/無効 切り替え
 6秒長押し	カメラ再起動

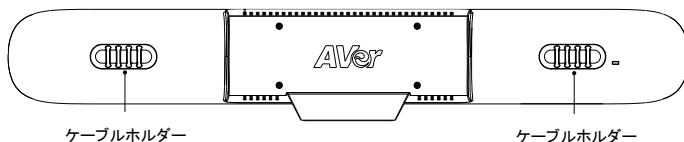
# 機器の配線

## 周辺機器との配線

1. 同梱の USB 3.0 ケーブルを使用し、VB350 本体とお使いのパソコンを接続してください。同梱の電源アダプタ及び電源ケーブルを使用し、VB350 本体と電源コンセントを接続します。



**[注意]**ケーブルの固定・整理には VB350 本体背面のケーブルホルダーをご活用ください。



\*USB 2.0 および USB 3.1 接続の解像度とフレームレート:

USB 2.0 接続時		USB 3.1 接続時	
YUV	M-JPEG	YUV	M-JPEG
- 640x480 以下/30fps	- 最大 1080p/30fps	- 最大 1080p/30fps	- 最大 4K/30fps
- 最大 720p/15fps		- 720p/60fps	

## Display Link 機能を使用するには

Display Link 機能は、USB ケーブル 1 本の配線のみで、「Web会議(カメラ・マイク・スピーカー)」と「PC 画面の外部出力」を同時に行う機能です。

通常、PC の画面を外部モニターに映すには HDMI ケーブルなどの接続が必要ですが、本機能を利用すれば USB ケーブル 1 本の配線で完結できます。

### 【事前準備:専用ソフトウェアのインストール】

本製品の Display Link 機能をご利用いただくには、接続するパソコン(Windows/Mac)に Display Link ドライバー、またはマネージャーアプリがインストールされている必要があります。

パソコンにインストールされていない場合、Synaptics 社(Display Link 開発元)の公式サイトより最新版をダウンロードし、インストールします。

・ダウンロードサイト(Synaptics 社)

[https://www.synaptics.com/products/Display\\_Link-graphics/downloads](https://www.synaptics.com/products/Display_Link-graphics/downloads)

(注) ドライバーまたは、ソフトウェアがインストールされていない、または正常に動作しない環境では、本機能はご利用いただけません。事前に使用されるパソコン環境にて Display Link ドライバーの導入・動作状況をご確認ください。

(注) USB 延長機を使用し USB ケーブルの配線を実施される場合は、USB3.0 かつ Display Link 対応が明記されたサードパーティー品をご選定ください。

【Display Link が PC にインストールされているか確認する】

■ Windows の場合 (確認方法)

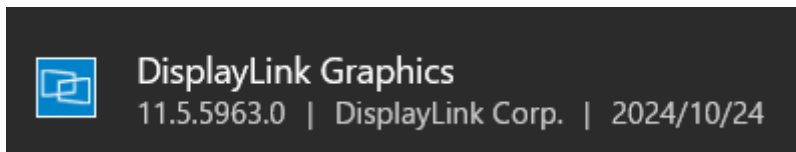
Windows では、「設定」画面のアプリ一覧から確認できます。

[スタート] > [設定](歯車アイコン)を選択します。

[アプリ] > [インストールされているアプリ](または「アプリと機能」)を開きます。

検索欄に「Display Link」と入力し「Display Link Graphics Driver」や

「Display Link Manager」が表示されればインストール済みと確認できます。



■ Mac の場合 (確認方法)

Mac (特に Apple シリコン搭載) では、Display Link は主に「アプリ」として動作します。

①「アプリケーション」フォルダを確認する

[Finder] > [アプリケーション] 内に「Display Link Manager」アプリがあるか確認します。

② メニューバーを確認する

画面右上のメニューバーに、Display Link のアイコン

(2つの四角が重なるマーク)が表示されているか確認します。

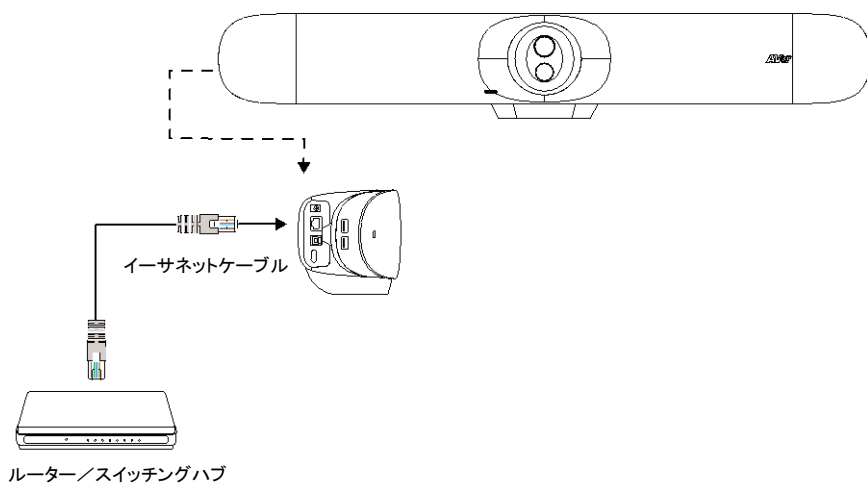
③「システムレポート」から確認する

[Apple メニュー] > [この Mac について] > [詳細情報] > [システムレポート] を開き左メニューの [ソフトウェア] > [拡張機能] を選択します。

一覧に「Display Link」が含まれているか確認します。

## イーサネット接続

VB350 は IP ネットワークを使用した Web ブラウザからの遠隔ログインに対応しています。詳細は「WebブラウザからWeb管理画面にアクセスする」の章を参照して下さい。



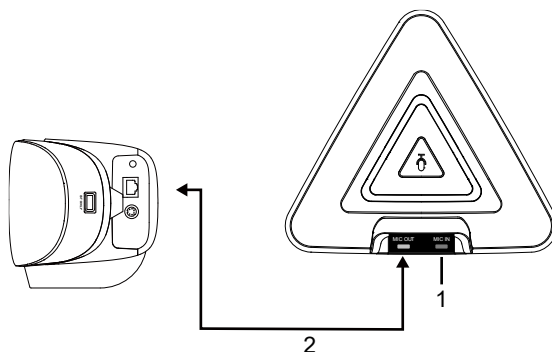
## 増設マイク(別売品)の接続

増設マイクは別売のオプション品です。弊社製品販売代理店からのみ、ご購入いただけます。

増設マイクを中心に半径約 2.5m、集音範囲を拡張できます。

また、増設マイクのボタン操作でマイクのミュート/ミュート解除操作を行うことができます。

- ※ 増設マイクにはケーブル(10mまたは 20m)が付属します。
- ※ 増設マイクを接続時、「本体内蔵マイクと増設マイク」の両方が有効になります。
- ※ 増設マイクでミュート操作時、本体内蔵マイクも連動しミュートの状態になります。

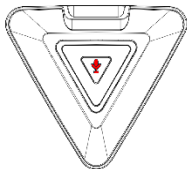
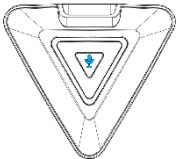


1.VB350 使用時に、このポートは使用しません。増設マイクは1つのみ増設が可能です。

2.付属 RJ45 ケーブルを増設マイクの MIC OUT と書かれた端子に接続し、反対側の端子は VB350 の端子に接続します。

## 増設マイク(別売)の操作方法

増設マイク中央のミュートボタンを押すと、マイクのミュート/ミュート解除を行うことができます。

	<p>LED 赤色点灯</p> <p>⇒ マイクはミュートの状態です。</p>
	<p>LED 青色点灯</p> <p>⇒ マイクはミュート解除され、マイク集音が有効の状態です。</p>

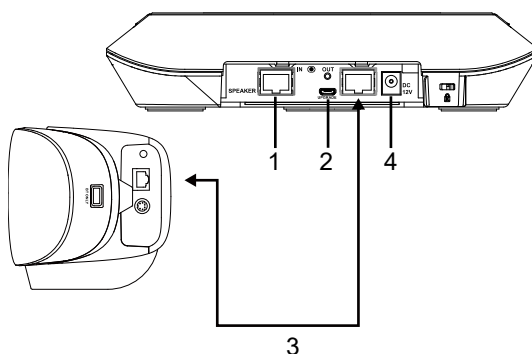
## 増設マイクスピーカー(別売品)の接続

増設マイクスピーカーは別売のオプション品です。弊社製品販売代理店からのみ、ご購入いただけます。

増設マイクスピーカーを中心に半径約 2.5m、集音範囲を拡張できます。

また、増設マイクスピーカー上面の静電気タッチパネル操作により、マイクのミュート・ミュート解除、スピーカー音量の調整を行うことができます。

- ※ 増設マイクスピーカーには、ケーブル(10mまたは 20m)が付属します。
- ※ 増設マイクスピーカーを接続時、「本体内蔵マイクと増設マイクスピーカー」の両方が有効になります。
- ※ 増設マイクスピーカーでミュート操作時、本体内蔵マイクも連動しミュートの状態になります。



### ・ポート1 (赤色 LAN 端子)

VB350 使用時に、は使用しません。またデジチェーン接続は非対応です。

### ・microUSB 端子

増設マイクスピーカーのファームウェアを更新する場合

microUSB ケーブル(非同梱)を使用して PC に接続してください。その後、Room Management を起動して、ファームウェアを更新します。

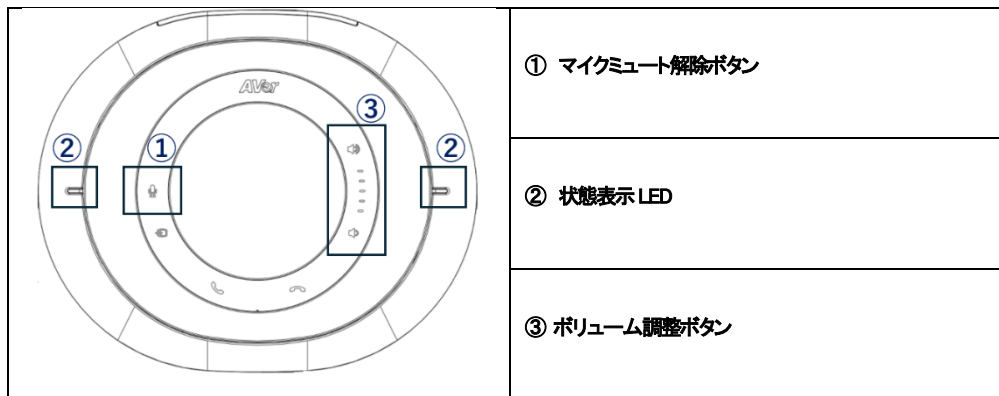
### ・カメラ本体との接続端子(黄色 LAN 端子)

同梱 RJ45 ケーブルを使用し、黄色コネクタ側を「増設マイクスピーカー側の黄色 LAN 端子」に接続し、赤色コネクタ側を「VB350 本体側の赤色 LAN 端子」に接続してください。

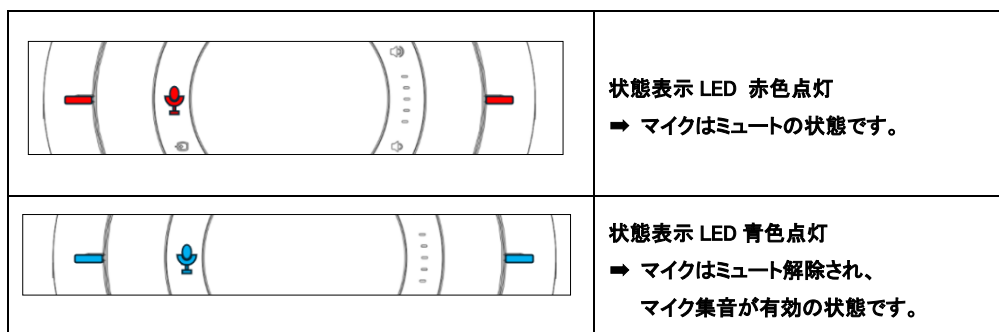
### ・電源差込口

製品付属の DC 電源アダプタを接続します。

## 増設マイクスピーカー(別売)の操作方法



【確認】増設マイクスピーカーのミュートボタンを押すと、マイクのミュート/ミュート解除を行うことができます。



【注意】VB350 内蔵マイクと、増設マイクスピーカーのミュート状態は連動して動作します。  
個別にマイクのミュート/ミュート解除を適用することはできない仕様になります。

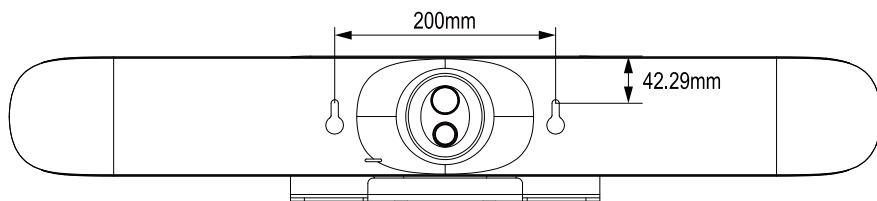
## 壁掛けマウント(同梱品)での設置

1.壁穴あけ加工用台紙(同梱品)を壁に貼り付け、2つのネジ穴に印をつけます。その後壁固定用ネジ(非同梱)を壁にねじ込みます。最後にカメラ本体を壁に掛けるため、壁とネジの間にある程度のスペースを空けてください。

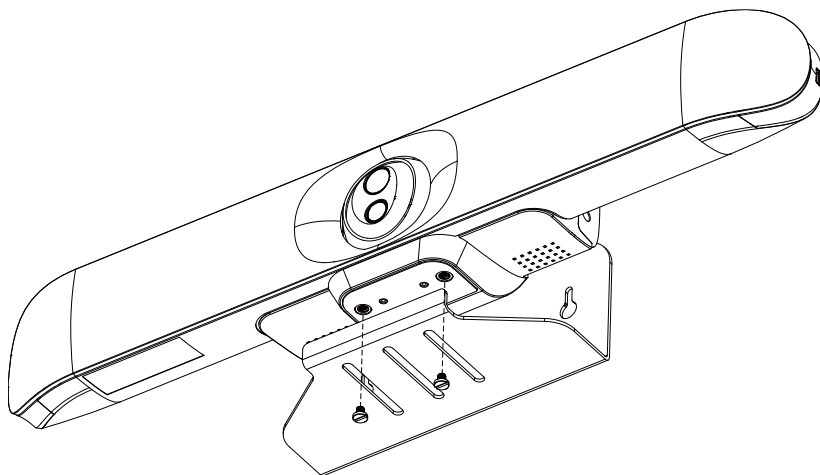
[注意] カメラを壁に固定するためのネジ(非同梱)は予め2本ご用意ください。必要に応じてアンカーを使用してください。

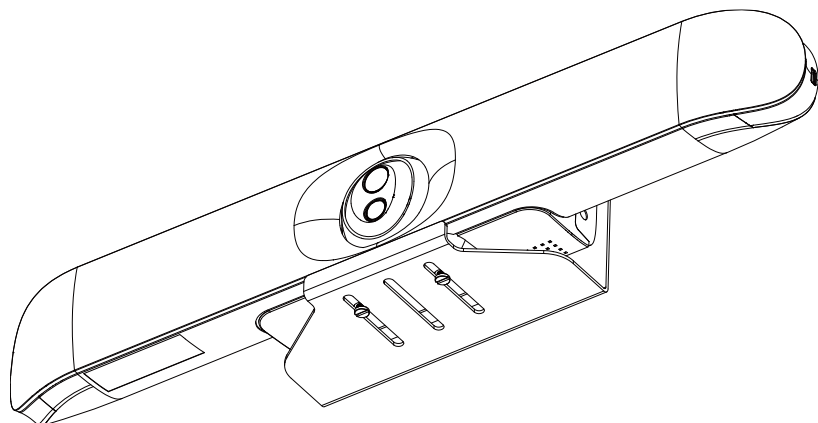
コンクリート壁の場合:M5 x20mm セルフタッピングネジ(2本)+プラスチック円錐アンカー

木製の壁の場合:M5 x20mm セルフタッピングネジ (x2)

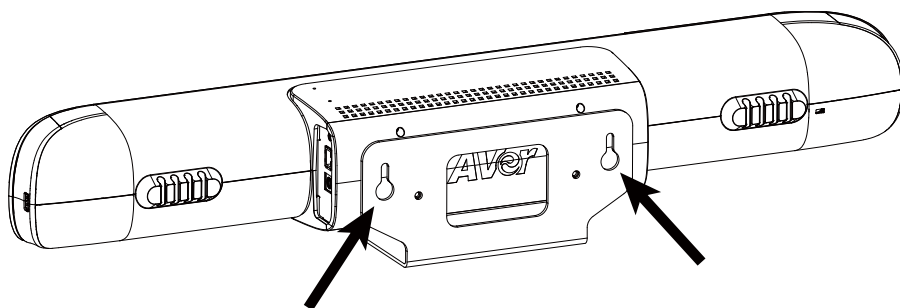


2.同梱の壁掛けマウント固定用ネジ(x2)を使用し、同梱の壁掛けマウントをカメラの底面パネルに固定します。





3. 壁掛けマウントの取り付け穴を壁の 2 つのネジに合わせカメラを壁に固定します。



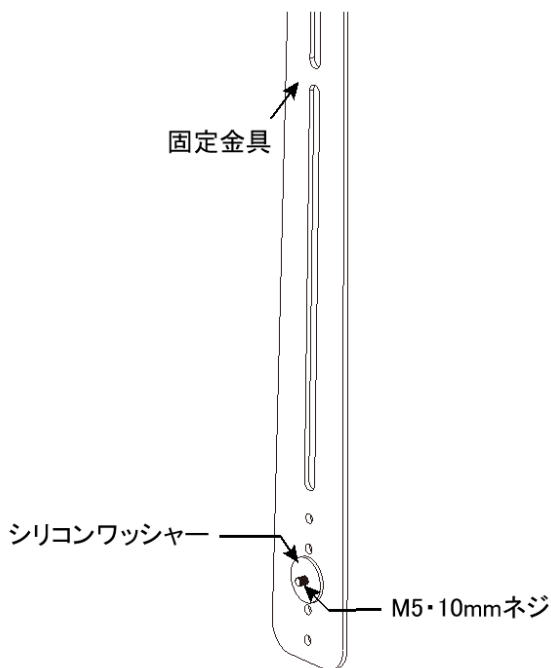
## TV サイズ VESA 取り付けマウント(別売品)での設置

パッケージ内容:

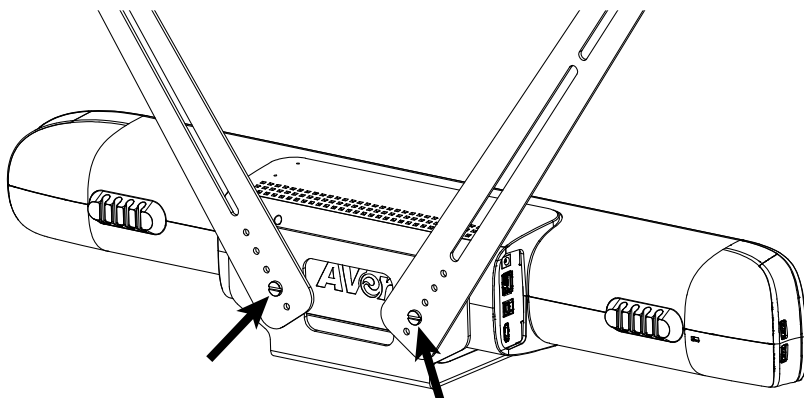


- |  |  |
|--|--|
|  M5・10mmネジ x2 |  シリコンワッシャー x2 |
|  M6・15mmネジ x4 |  金属ワッシャー x2   |
|  M6・20mmネジ x4 |  M6 ワッシャー x4  |
|  M8・20mmネジ x4 |  M8 ワッシャー x4  |
|  M8・30mmネジ x4 |  |

1. M5・10mm ネジとシリコンワッシャーを、固定穴（5段階調整可能）に通します。

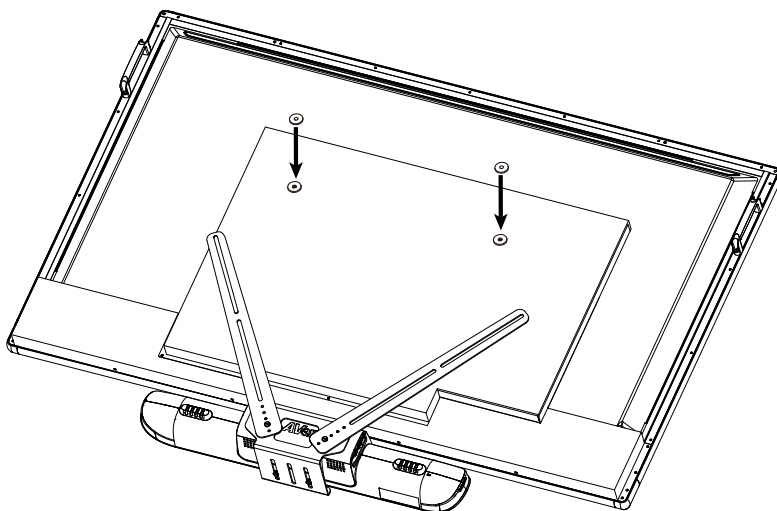


2. カメラ本体背面のネジ穴と固定金具を固定します。この段階では、きつく締めないでください。固定金具を固定するためのねじ穴は5段階で選択できます。

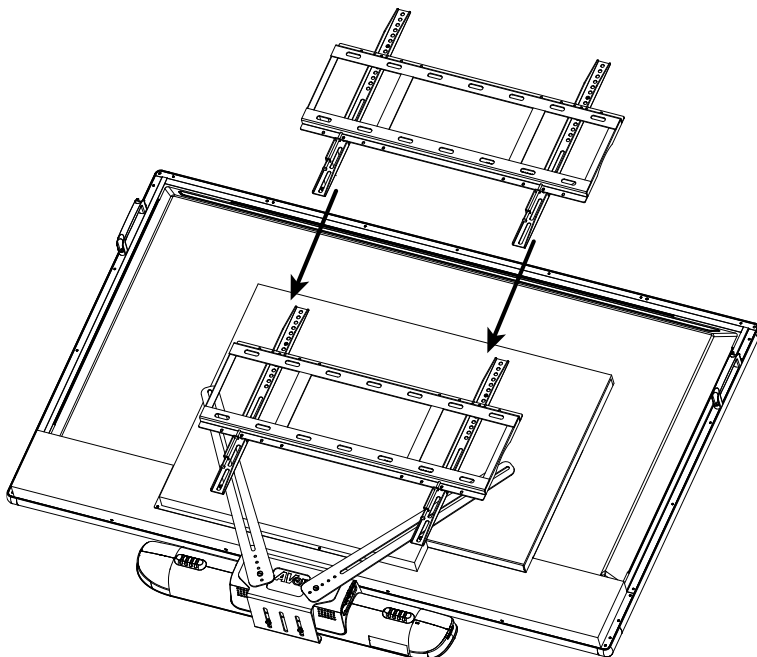


3. 下図の通り、テレビの VESA 取り付け穴に、金属ワッシャーを置きます。

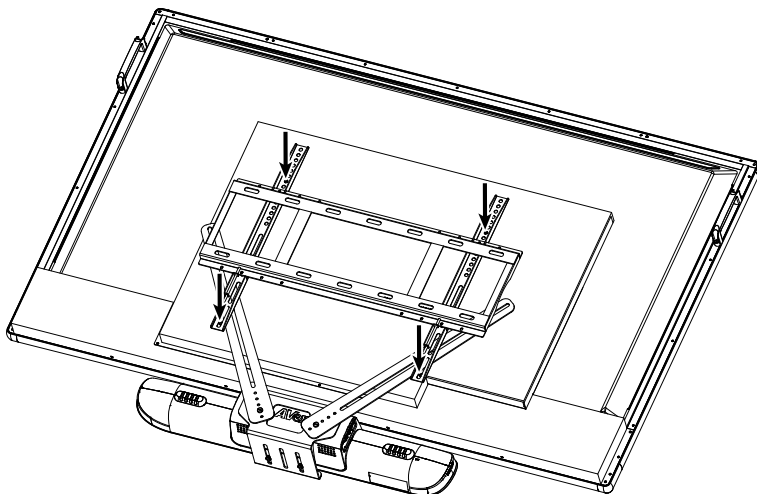
[注意] テレビマウントラック設置不要の場合は、手順 3~5 を飛ばして手順 6 に進んでください。



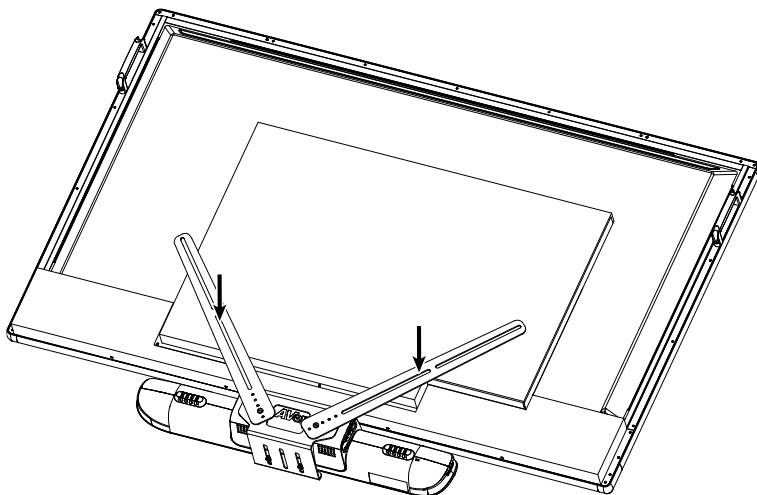
4. テレビマウントラックを上に乗せます。



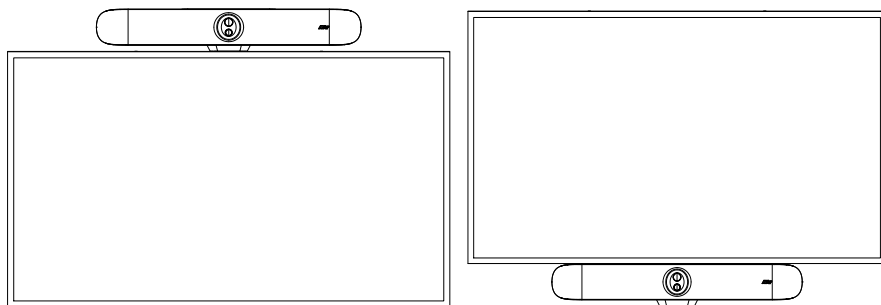
5. マウントラックと固定金具をテレビに固定します。この段階ではネジをきつく締めないでください。必要に応じてマウントラックと固定金具を適切な位置へ調整し、最後に全てのネジをしっかりと締めてください。



6. テレビマウントラック取り付けが不要な場合、固定金具をテレビの VESA 取り付け穴に固定します。必要に応じて固定金具を適切な位置へ調整し、最後に全てのネジをしっかりと締めてください。



7. カメラはテレビの上または下に取り付けることができます。固定方法はいずれも同じです。上記の手順に従いカメラを固定してください。



# カメラの操作

## Web 会議を行うには


- 1.VB350 が周辺機器(PC、モニター等) と正しく配線され、各機器の電源がオンの状態であることを確認します。
  - 2.PC で Web 会議ソフトウェア (Teams、Skype™、Skype for Business™、Google Hangouts™、Zoom™、WebEx™、Adobe Connect™、WebRTC など)を起動します。
  - 3.Web 会議ソフトウェアの設定から、使用するカメラ・スピーカー・マイクデバイスを「VB350」に設定します。
- ※各ソフトウェアの詳細設定については、ソフトウェア製造元のサポート/ヘルプをご参照下さい。

[注意] VB350 は、プラグアンドプレイで動作し、特別なドライバーの追加インストールは必要ありませんが、利便性・メンテナンス性向上のため AVer ソフトウェア「Room Management (無償)」のインストールを推奨します。Room Management のインストール方法と使用方法については本紙の「Room Management」の項目を参照してください。

## Web ブラウザから Web 管理画面にアクセスする

VB350 本体には通信用イーサネット端子が搭載されています。IP ネットワークを経由し遠隔からカメラの Web 管理画面にログインし各設定/制御を行うことができます。さらに、VB350 は RTSP および RTMP 機能もサポートしています。詳しくは<ビデオフォーマット設定>の項目をご参照ください。

[注意] USB ストリーミングがオンの場合、RTSP/RTMP 機能は動作しません。


- 1.VB350 通信用 LAN 端子に LAN ケーブルを接続し、利用する IP ネットワークに接続します。
- 2.Room Management\* (  ) を起動し、VB350 と PC を USB ケーブルで接続します。

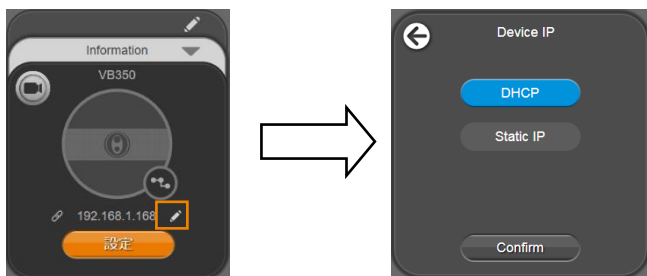
※カメラの IP アドレスはデフォルトで [192.168.1.168] に設定されています。




[対応 Web ブラウザ]

- GoogleChrome:バージョン 76.x 以降
- Firefox:バージョン 69 以降
- Internet Explorer:非対応

1. 鉛筆アイコン (  ) をクリックし、使用する IP アドレスを入力します。\*\*



2. ウェブリンクアイコン (  ) をクリックすると、Web ブラウザが自動的に立ち上がります。初回ログイン時、パスワードを入力してください。(デフォルトパスワード [aver4321]) ログイン後、新しいアカウント名とパスワードの設定が要求されます。(パスワードを忘れた場合は、ソフトウェア Room Management から本体の初期化を実施してください。初期化を実施するとデフォルトのパスワードに戻ります。)

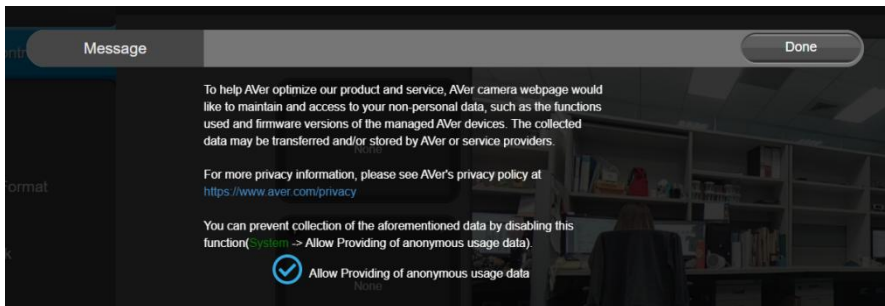


[注意] IP アドレス設定後は LAN 接続経由でカメラの Web 管理画面へログインできます。

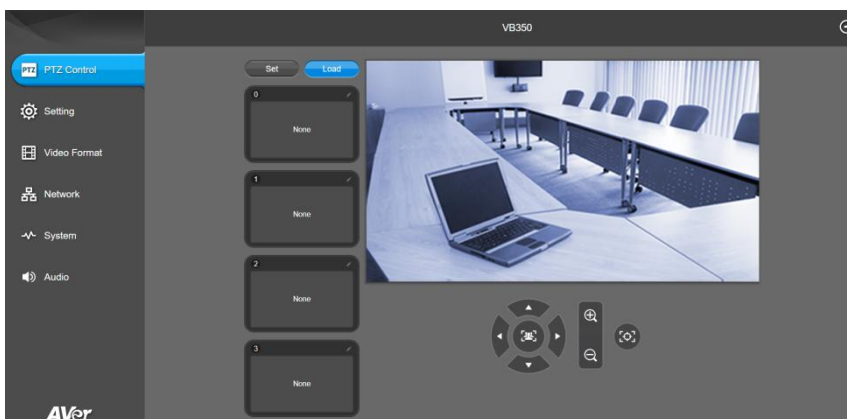
3. ログインをクリックすると、以下の匿名データ使用許諾画面が表示されます。

AVer 製品やサービスの改善に役立するため、匿名のデータ使用を許可するアイコン  をオプションでチェックすることができます。完了をクリックすると、メインの web 管理画面が表示されます。

データ使用を無効にしたい場合は、web 管理画面から、システム > 匿名データの提供を許可 に進み、オフを選択します。



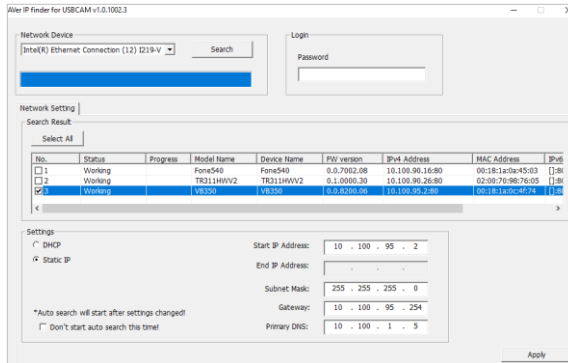
4. ログイン後、下図のように Web 管理画面が表示されます。



\* Room Management のインストール方法と使用方法については本紙の〈Room Management〉の項目を参照してください。

\*\* IPネットワーク上から直接カメラのIPアドレスを変更する場合、ソフトウェアAVer IP Finder を使用します。

1. <https://www.aver.com/download-center> からAVer IP Finderをダウンロードします。
2. AVer IP Finderをインストール、起動します。
3. 「Search」をクリックすると、ネットワーク上に接続されているデバイスが画面に一覧表示されます。
4. リストから設定したいカメラに、チェック☑を入れます。
5. カメラの IP アドレスを変更するには、「DHCP」または「Static IP (固定IP)」を選択します。
  - ・画面右上のloginの項目にパスワードを入力します。デフォルトパスワードは [aver4321] です。
  - ・この状態で「Apply」をクリックすると、カメラのIPアドレス設定変更が開始されます。
6. 「Search」ボタンをクリックして、カメラを再スキャンし、カメラのIPアドレスが変更されたことを確認します。
7. リストからカメラの IP アドレスをダブルクリックするとブラウザが立ち上がり、カメラのWeb管理画面が自動的に表示されます。
8. デフォルトのパスワード [aver4321] を入力し、Web管理画面にログインします。



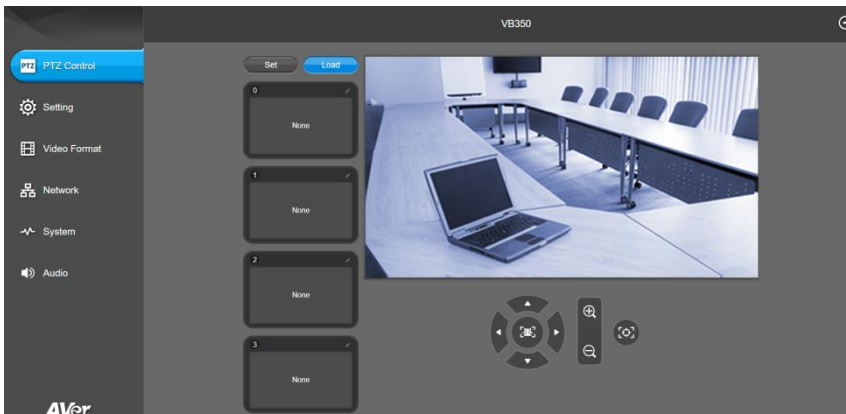
## Web 管理画面からの操作

VB350 はイーサネット接続をサポートしています。ユーザーはウェブブラウザに IP アドレスを直接入力してカメラに接続し、詳細設定を行うことができます。

### 初回ログイン

カメラの IP アドレスを見つけるには、<Web ブラウザから Web 管理画面にアクセスする>の項目を参照してください。

- 1.PC でブラウザを開き、カメラの IP アドレスを入力します。
- 2.ログイン画面でパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは [aver4321] です。
- 3.Web 管理画面メインページが表示されます。

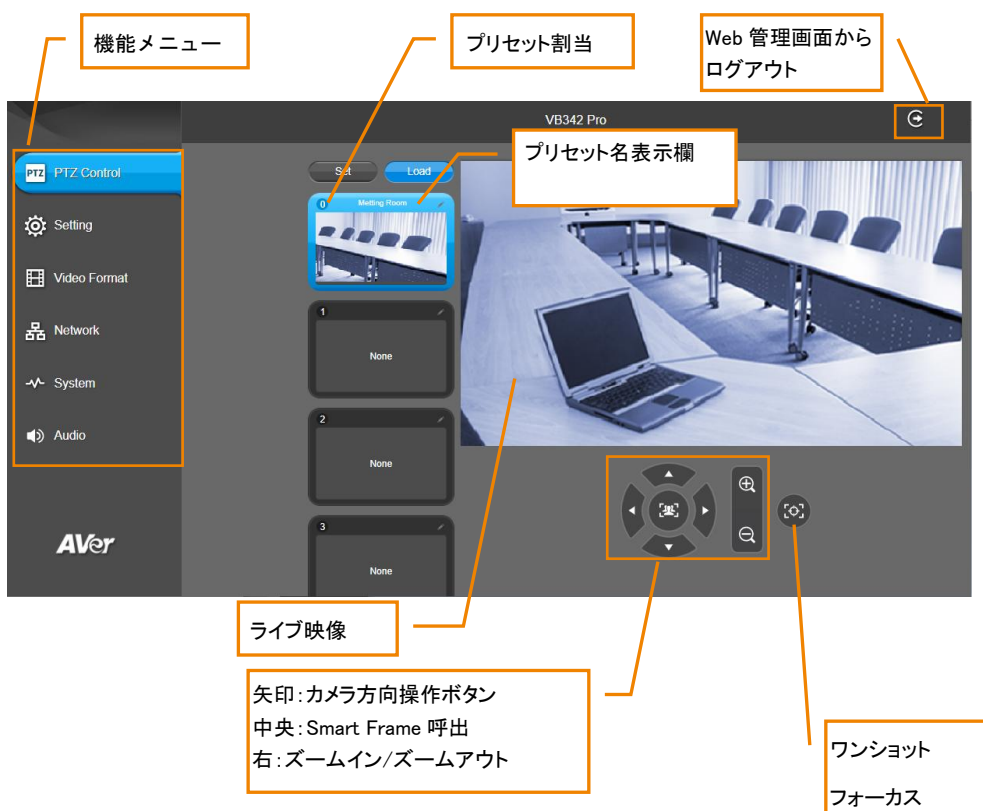


## Web 管理画面からのカメラ操作

カメラの上下左右方向、ズームイン/ズームアウト、プリセット位置の設定が可能です。

[注意]

- ・Web 管理画面にユーザーがログインしている状態で別のユーザーがログインした場合、先にログインしていたユーザーは強制的にログアウトします。
- ・無操作状態が 4 時間以上続いた場合、ユーザーは強制的にログアウトされます。
- ・ライブ映像に表示されるビデオ解像度は 1280x720/ 5fps です。
- ・USB ストリーミングを有効にした場合、Web 管理画面のライブ映像は使用できなくなります。



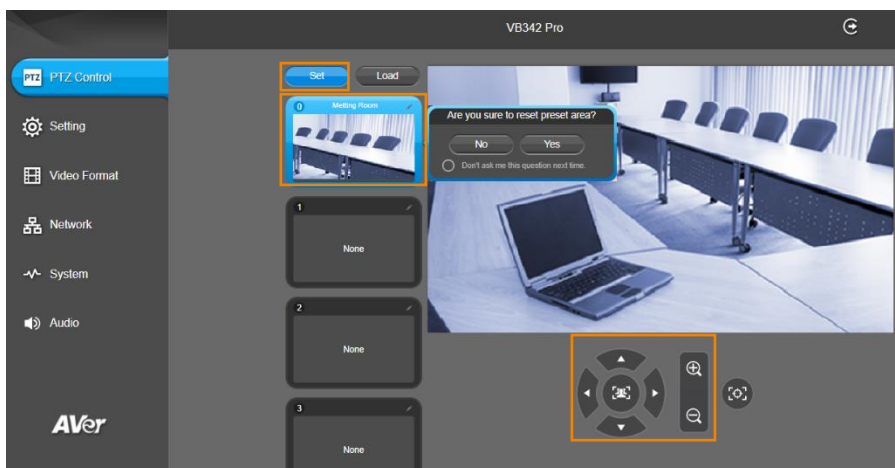
## プリセットの登録・呼び出し

Web 管理画面では、最大 10 個のプリセットを登録・呼び出しすることができます。

1. カメラのライブ映像画面にて、プリセットを保存する番号のウィンドウ(0~9)をクリックします。
2. 矢印ボタン/ズームボタンをクリックして、上下左右のカメラ位置とズーム倍率を調整します。

[Set]をクリックすると指定した番号にプリセット位置が保存されます。

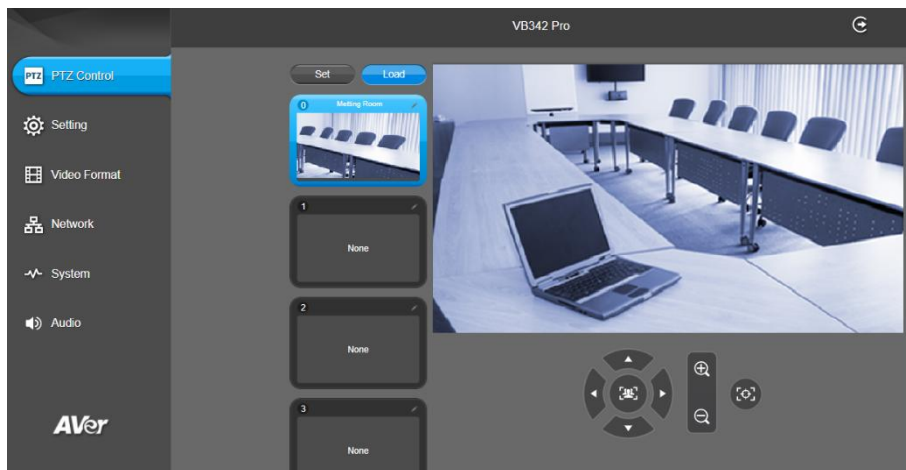
プリセットが保存されると、「プリセット時のカメラ映像」がサムネイル表示されます。



3. アイコンをクリックすると、登録したプリセットに名称を入力できます。



4. 上記手順を繰り返し、必要なプリセットを登録します。
5. プリセットの保存が完了後はプリセットの呼び出しが可能になります。  
「Load」ボタンをクリック後に登録したプリセット番号のサムネイルをクリックすると、登録したプリセットの呼び出しが実行されます。

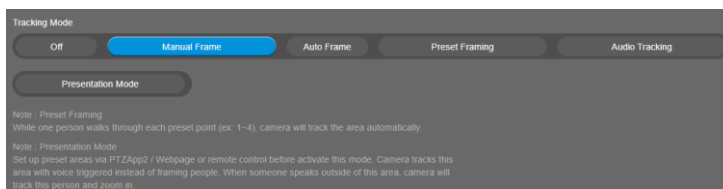


## カメラ設定

📷アイコンをクリックするとカメラのライブ映像が設定画面の上に表示されます。



## 追跡モード



- オフ: すべての追尾機能を無効にします。
- 手動フレーム: リモコンの Smart Frame ボタンを押した場合にのみ、自動画角調整を行います。

### ■ オートフレーム:

カメラ映像内に人の顔・体を検出時、画面上の人物が中央に収まるよう自動的に画角調整を行います。

カメラ映像内の人物が静止した時点から、1 ~ 5 秒後に、自動画角調整が実行されます。

\* 一度画角調整機能が実行されると、人物が動かない限り調整時の画角を保持します。

参加者がビデオ撮影範囲外に移動、または新しい参加者がカメラの撮影範囲内に入ると自動画角調整機能が再度自動的に実行されます。

※デフォルトのフレーミング速度は「中」速度です。「高速」は、1 人の追跡に適しています。

### ■ プリセットフレーミング:

このモードでは、人物の検出・移動をトリガーとしてプリセットの自動呼出を行います。

事前に自動呼出を行うプリセット位置を設定します。

→プリセット位置 1~9 のみ、プリセット 0 はホームポジション用です。

→指定プリセット範囲の各プリセットは撮影範囲の端が、重複するよう設定してください。)

指定プリセット範囲に人物を検出時、指定プリセットを自動的に呼び出します。

→人物が指定プリセット範囲へ移動するまで、呼び出したプリセット位置を保持します。

→人物が指定プリセット範囲へ移動した場合、隣接した指定プリセットを自動的に呼び出します。

※指定プリセット範囲はすべて、撮影レンズの画角内であることを確認してください。

※指定プリセット範囲に人物がいない場合、カメラは自動的に倍率 1 倍へ戻り、SmartFrame(自動画角調整)を実行します。

※プリセットで指定した撮影エリアに 2 人以上の人物が検出された場合、カメラはプリセット 1 を呼び出します。

※プリセット自動呼出の優先順位はプリセット 1>プリセット 2>プリセット 3...>プリセット 9 です。

各プリセットの端が重なるように設定します。

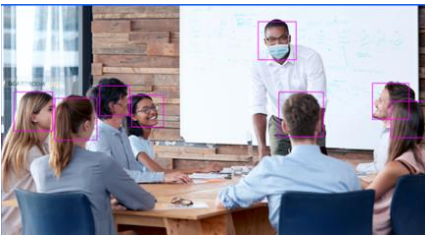


プリセット位置を離して設定



プリセット位置を重ねて設定

**[注意]** VB350 のプリセットフレーミング機能では、カメラから約5mまで距離の人物を検出できます。



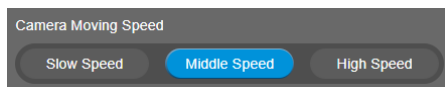
■ **オーディオトラッキング:** 発言中の人物を検出すると、発言者に対して自動的に追尾を行います。

■ **プレゼンテーション モード:**

最初にプリセット (プリセット 1~9。プリセット 0 はホーム ポジション用) をあらかじめ設定します。設定したプリセット位置で発言者を検出すると、カメラは自動的にプリセットを呼び出します。この状態でプリセットエリア外にいる別の人物が発言した場合、検出した発言者に対して追尾を行います。誰も発言せず設定した待機時間を経過した状態で、人物が検出されない場合は、最後に呼び出したプリセット位置の呼び出しを行います。

## カメラ移動速度

カメラ移動速度を3段階で設定します。



## フレーム調整速度

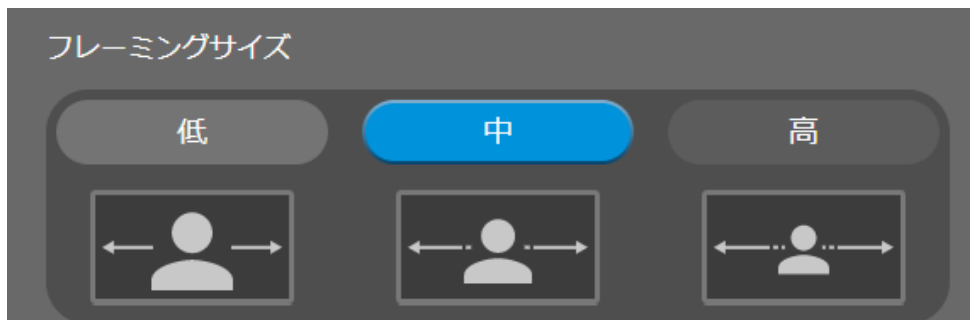
カメラが自動的に画角調整を行うまでの速度を調整します。



- **低速:** 人の動きがない状態から5秒経過後、自動画角調整を行います。
- **中速:** 人の動きがない状態から3秒経過後、自動画角調整を行います。(デフォルト)
- **高速:** 人の動きがない状態から1秒経過後、自動画角調整を行います。

[注] 1人のみを追尾する場合、高速の設定を推奨します。

## フレーミングサイズ



- **近:** 人物に対して、寄りのズーム倍率(デフォルト)
- **中:** 人物に対して、中間のズーム倍率
- **遠:** 人物に対して、引きのズーム倍率

## Audio Tracking インターバル時間

Audio Tracking のアイドル時間を**オフ**, **15 秒**, **30 秒**, **40 秒**, **50 秒**, **60 秒** のいずれかに設定できます。

発言のない無音の状態が、設定したアイドル時間を経過した場合、設定されたプリセット位置（デフォルト：中央）に戻り、自動画角調整を実行します。

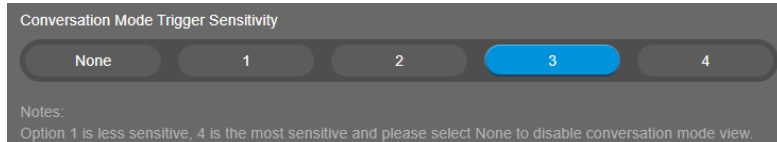
[オフ] に設定した場合、音が検出されない場合であっても最後に呼出したカメラ位置を維持します。



## 会話モード 感度設定

複数方向からの会話を検出した際にカメラ映像が一度自動的に倍率1倍になり、自動画角調整を実行する

「会話モード」の感度を 1～4 から設定します。値を 0 に設定した場合、「会話モード」は無効になります。

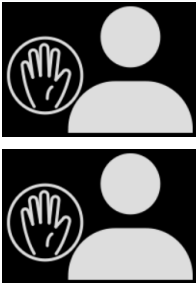

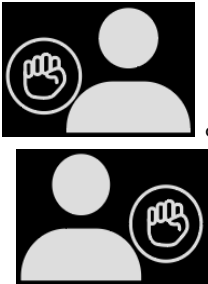


## ジェスチャーコントロール

ジェスチャーコントロール機能では、追尾機能のオン/オフやズームイン/アウトなど指定ジェスチャーにより、カメラを操作することができます。クリック“?”アイコンをクリックすると、各操作のジェスチャーが表示されます



- ・ジェスチャーコントロール機能をオンにします。
  - ・ジェスチャーのいずれかをカメラの前に表示すると、ジェスチャー コントロール機能が有効になります。
  - ・ジェスチャーを 2 ～ 3 秒間表示し続けると、ジェスチャー操作が実行されます。
- 下図は呼び出される機能と、ジェスチャー表示です。

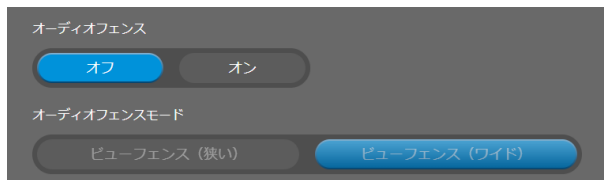
使用するジェスチャー	ジェスチャーの説明
<p style="text-align: center;"><b>追尾オン/追尾オフ</b></p>  <p style="text-align: center;">or</p>	<p>手を顔の横にパーの状態、2～3秒待つと、追尾機能のオン・オフ切り替えを行うことができます。</p> <p>(注)ジェスチャー操作を行う手は、顔から 10cm 以上離してください。</p>
<p style="text-align: center;"><b>ズームイン</b></p> 	<p>手をグーの状態の上に挙げ2～3秒待つと、カメラのズームインが実行されます。</p> <p>手を挙げている人が複数人いる場合、カメラは最初の人 が手を下げるまで追跡します。</p> <p>(注)ズームイン/アウト機能を実行する前に追尾機能をオフにしてください。</p>
<p style="text-align: center;"><b>ズームアウト</b></p>  <p style="text-align: center;">or</p>	<p>手を顔の横にグーの状態、2～3秒待つと、カメラのズームアウトが実行されます。</p> <p>手を挙げている人が複数人いる場合、カメラは最初の人 が手を下げるまで追跡します。</p> <p>(注)ズームイン/アウト機能を実行する前に追尾機能をオフにしてください。</p>

## オーディオフェンス

本機能はカメラ映像範囲外の騒音を低減する機能です。

オーディオフェンスを実行する範囲は2種から選択することができます。

(注)本機能を有効にした場合、パン・チルト・ズーム機能・自動画角調整は無効になります。



## オートフォーカス

オートフォーカスの動作を選択できます。

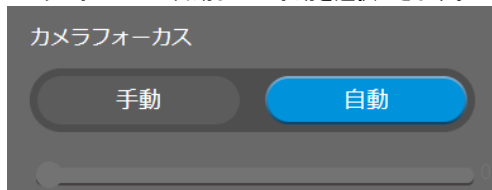
・PTZ 操作時のみ→カメラ操作を実施した場合のみ、オートフォーカスを実行します。

・連続フォーカス→カメラ操作実施の有無に関わらず、常にオートフォーカスを実行します。



## カメラフォーカス

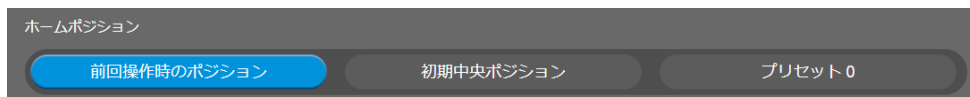
カメラフォーカスの自動または手動を選択できます。



- **自動:** カメラのオートフォーカスが有効になります。
- **手動:** カメラのフォーカスを下のスライド範囲で調整することができます。

## ホームポジション

カメラ起動時のカメラ位置を設定できます。



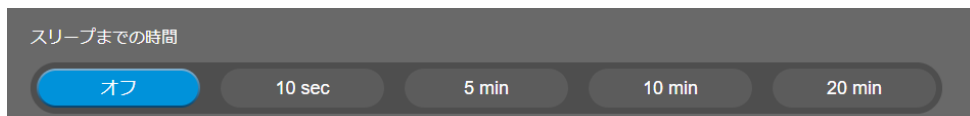
## スリープ位置

カメラがスリープ時のカメラ位置を設定できます。



## スリープまでの時間

カメラの映像出力がなく、無操作の状態からスリープ状態に入るまでの時間を選択できます。



## オンスクリーンメニュー

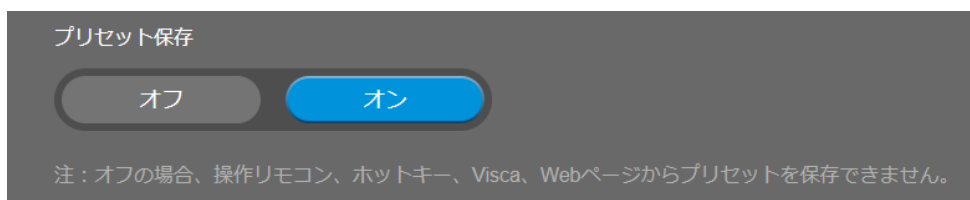
各機能呼び出し時、カメラ映像に表示されるオンスクリーンメニューの表示・非表示を選択できます。



## プリセット保存

プリセット保存機能のオン・オフを選択できます。

オフの場合、カメラはプリセット機能を使用できない状態になります。



## カメラ映像設定

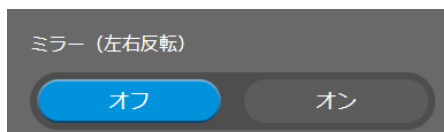
### フリップ(上下反転)

カメラ映像上下反転の有効・無効を選択できます。



### ミラー(左右反転)

カメラ映像左右反転の有効・無効を選択できます。

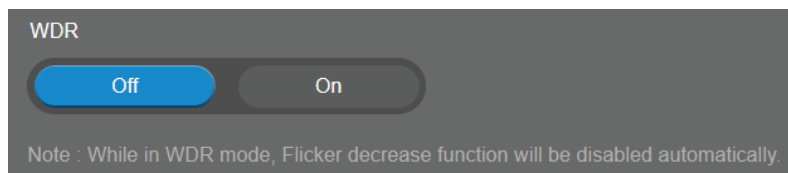


### WDR

WDR 機能のオン・オフを選択できます。

(注 1) WDR 機能がオンの場合、フレーム数は 30fps に制限されます。

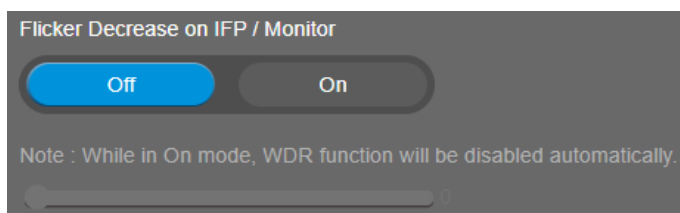
(注 2) WDR 機能がオンの場合、ビデオの明るさ調整は無効になります。

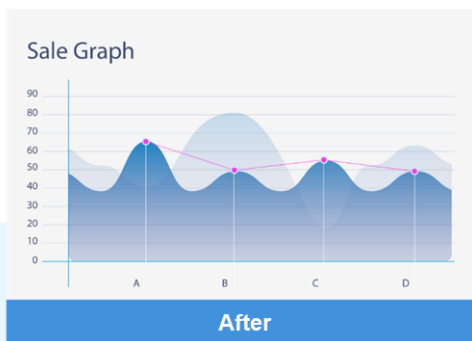
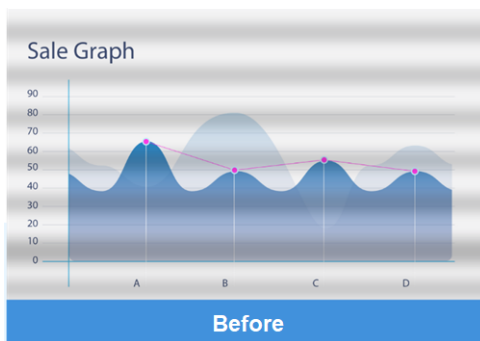


### IFP/モニターのリッカー低減

本機能を有効にすると、電子黒板やモニター撮影時のフリッカーを低減します。

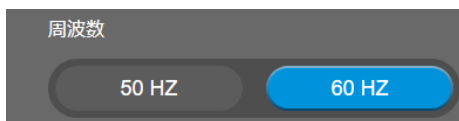
**[注]** 本機能有効時、WDRは無効になります。





## 周波数

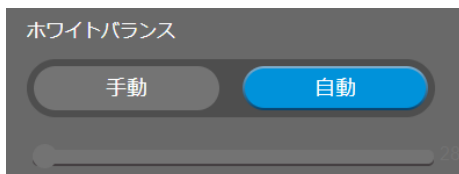
電源周波数を 50Hz または 60Hz に設定できます。機器を使用する地域に適切な値を選択してください。



## ホワイトバランス

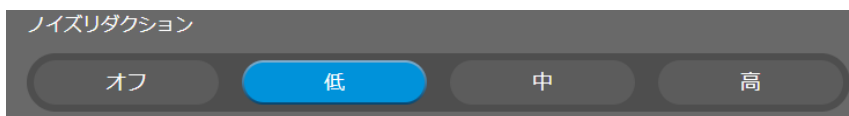
カメラ映像のホワイトバランスの自動・手動を選択できます。

手動の場合、下のスライダーを操作し手動でホワイトバランスを調整することができます。



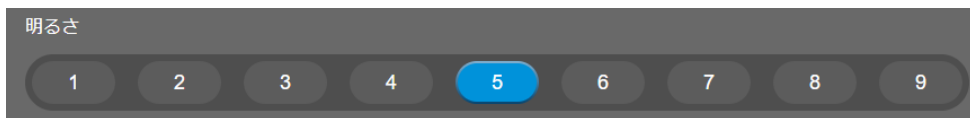
## ノイズリダクション

カメラ映像のノイズ低減処理 強度を選択できます。



## 明るさ

カメラ映像の明るさを 9 段階で調整できます。



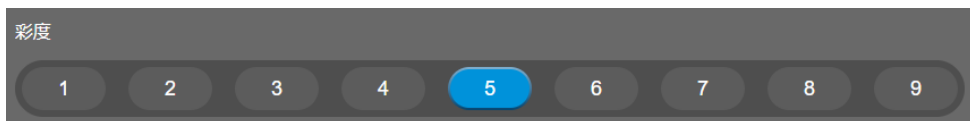
## シャープネス

カメラ映像のシャープネスを調整できます。



## 彩度

カメラ映像の彩度を9段階で調整できます。



## 低照度補正

低照度補正機能の有効・無効を選択できます。

(注)低照度補正を有効にした場合、ビデオのフレームレートが10～15 fpsまで低下します。

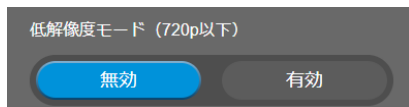


## 低解像度モード(720p 以下)

低解像度モードの有効・無効を選択できます。

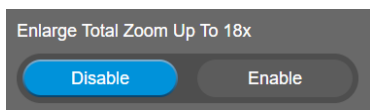
注1) 低解像度モードを無効/有効にするとカメラは自動的に再起動し、再起動まで約 20～60 秒かかります。

注2) Teams 等の一部のビデオ会議ソフトウェアでは、ビデオ通話中の帯域幅の負荷を下げるため低解像度(360p)のビデオストリーミングが行われる場合があります。ビデオ通話中の画質を優先する場合、低解像度モードを無効にしてください。本モードの副作用として、ソフトウェアによりフレームレートが低下する場合があります。



## 最大 18 倍ズームを有効にする

最大 18 倍ズームの有効・無効を切り替えます (デフォルトは最大 15 倍ズーム)



## ビデオフレームレート

ビデオ映像のフレームレートを 30fps または 60fps を選択できます。

※動きが少ない撮影環境の場合は 30fps を選択してください。



## RS232

カメラ本体の RS232 端子から行うシリアル通信の各設定を行うことができます。  
使用される制御システムの環境に合わせて、適切な値を設定してください。

RS232

アドレス

1 2 3 4 5 6 7 8

ボーレート

2400 4800 9600 115200

プロトコル

Visca Pelco-P Pelco-D

VISCA over IP

オフ オン

## ビデオフォーマット

VB342 Pro

H.264プロファイル

ベースラインプロファイル ハイプロファイル

IPストリーム解像度

1080P 720P 480P 360P

フレームレート

60 FPS 30 FPS 15 FPS

ビットレート

自動 512 Kbps 1 Mbps 2 Mbps 4 Mbps 8 Mbps 16 Mbps 32 Mbps

RTSP and RTMP

RTSP, RTMP will not be available while USB streaming is in use.

RTSP

ビデオフォーマット

H.264 H.265

注：ビデオフォーマットの切り替えは、約30~60秒かかります。  
パスワードが必要です

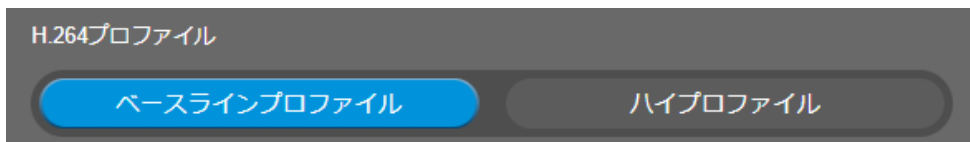
オフ オン

AVer

## H.264

RTSP, RTMP ビデオ配信時に使用するビデオの圧縮方式を選択できます。(H.264/H.264HP)

注)USB 端子から映像が出力されている状態では RTSP, RTMP 配信機能は無効になります。



## IP ストリーム解像度

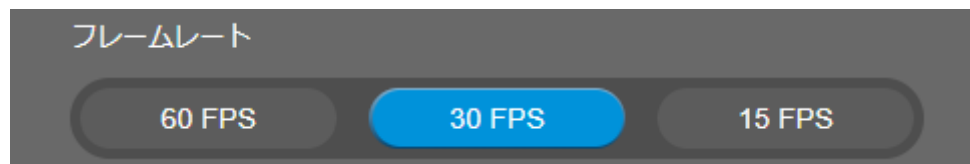
RTSP, RTMP ビデオ配信時に使用するビデオ解像度を選択できます。

注)USB 端子から映像が出力されている状態では RTSP, RTMP 配信機能は無効になります。



## フレームレート

RTSP, RTMP ビデオ配信時に使用するビデオのフレームレートを選択できます。



## ビットレート

RTSP, RTMP ビデオ配信時のビデオビットレートを選択できます。



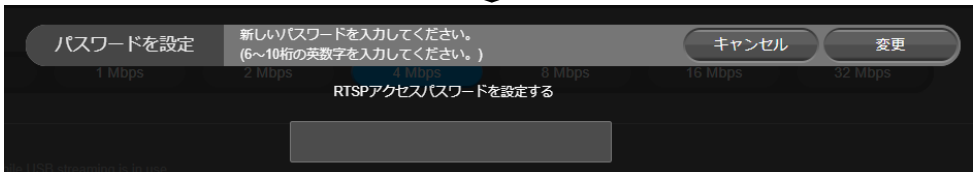
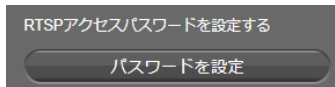
## RTSP

カメラからソフトウェアに対して RTSP を配信するには、VLC、PotPlayer、Quick Time などのアプリケーションで Web 上に表示される RTSP URL を入力してください。また、RTSP 配信開始時にパスワードを要求するか設定することができます。



### RTSP パスワードの設定

1. 「パスワードを設定」をクリックします。
2. 任意のパスワードを入力します。
3. 「変更」をクリックするとパスワードが設定されます。



## RTMP

YouTubeLive などの RTMP に対応した配信サイトにカメラ映像を配信することができます。

1. 配信サイトから取得した RTMP サーバーURL とストリームキーを入力します。
2. 「開始」を選択すると、配信サイトへのビデオ配信を開始します。
3. 「停止」を選択すると、配信サイトへのビデオ配信を停止します。

RTMP

注：Facebookの制限により、ビデオの品質を確保するには、最大ビットレートを4Mbpsに設定してください。

RTMPサーバーURL

ストリームキー

RTMPの使用を開始する

開始

## ネットワーク

### Hostname

機器のホスト名を設定することができます。(注：ホスト名は英数字のみ入力できます)

Hostname

VB342-PRO

### ネットワーク

カメラが使用する IP アドレスにて、固定 IP または DHCP を選択できます。

Static IP

**DHCP**

- **固定 IP:** カメラに使用する固定 IP アドレスを入力します。
  1. IP アドレス・ゲートウェイ・サブネットマスク・DNS サーバーを入力します。
  2. 「適用」をクリックして設定を保存します。

IPアドレス	ゲートウェイ	ネットマスク	DNS
10.103.10.9	10.103.1.254	255.255.0.0	10.100.1.6

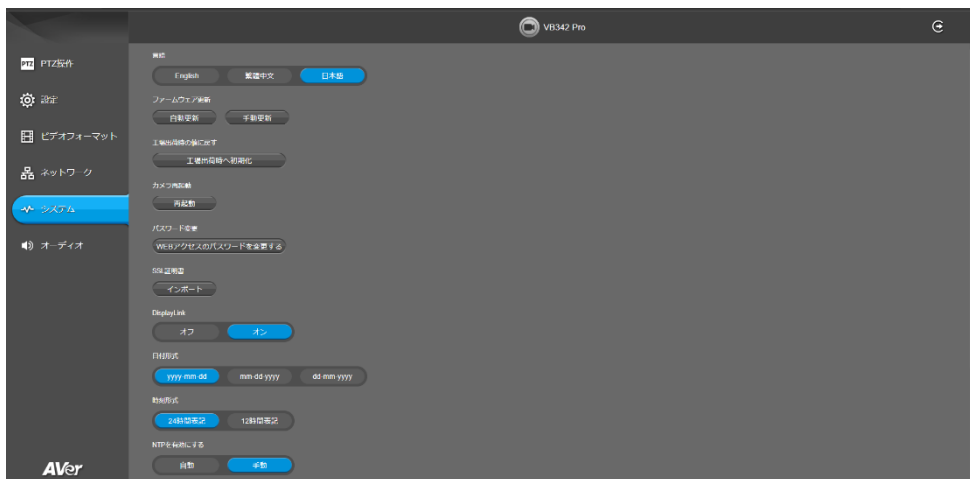


IPアドレス				ゲートウェイ			ネットマスク				DNS				
10	103	10	9	10	103	1	254	255	255	0	0	10	100	1	6

適用

- **DHCP:** ネットワーク上の DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得します。

## システム



## 言語

システムが表示する言語を選択できます。



## ファームウェア更新

カメラのファームウェア更新が実施できます。



- **自動更新:** 弊社サーバーから最新のファームウェアファイルをダウンロードし、更新を行います。
- **手動更新:** 弊社 HP からダウンロードしたファームウェアファイルを選択し更新を行います。

### 【注意】

ファームウェア更新が完了後、カメラは自動的に再起動します。ファームウェア更新中は常に電源を供給してください。ファームウェア更新中に電源が失われると、カメラが故障する原因となりますのでご注意ください。

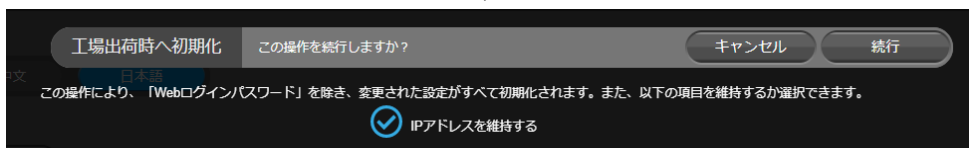
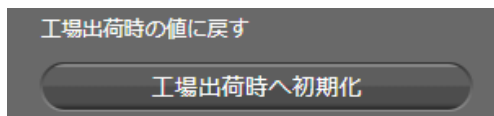
## 工場出荷時の値に戻す

カメラの設定を工場出荷時の状態へ初期化します。

1. 「工場出荷時へ初期化」をクリック
2. カメラの IP アドレスを保持するか、デフォルトの IP アドレスへ初期化するか選択できます。
3. 「続行」をクリックすると、カメラの初期化が実行されます。

[注意] セキュリティ上、初期化を実行しても Web 管理画面へのログインパスワードは初期化されません。

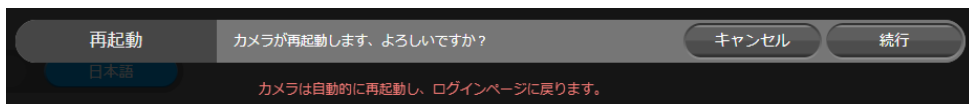
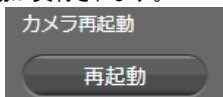
Web 管理画面へのログインパスワードをリセットするには、カメラと PC を USB ケーブルで接続しソフトウェア Room Management から初期化を実施してください。



## カメラ再起動

手動でカメラを再起動します。

1. 「再起動」をクリックします。
2. 「続行」をクリックするとカメラの再起動が実行されます。



## パスワード変更

Web 管理画面へのログインパスワードはデフォルトで“aver4321”に設定されています。

1. 「Web アクセスのパスワードを変更する」をクリックします。
  2. 古いアカウント名・パスワードを入力後、「続行」をクリックします。
  3. 新しいアカウント名・パスワードを入力し、「続行」をクリックすると適用が開始されます。
- 注) 古いパスワードを忘れた場合、Web 管理画面へのログインパスワードをリセットしてください。

カメラと PC を USB ケーブルで接続しソフトウェア Room Management から初期化を実施してください。

The image illustrates the password change process through three sequential screenshots connected by downward arrows:

- Top Screenshot:** A dark grey button labeled "パスワード変更" (Change Password) with a sub-button "WEBアクセスのパスワードを変更する" (Change Web Access Password).
- Middle Screenshot:** A form titled "パスワード変更" (Change Password) with a language selector "日本語" (Japanese). The main instruction is "最初に古いアカウント名とパスワードを入力してください" (Please enter the old account name and password first). It includes input fields for "アカウント名" (Account Name) and "パスワード" (Password), and buttons for "キャンセル" (Cancel) and "続行" (Next).
- Bottom Screenshot:** The same form, but the instruction is "新しいログインアカウントとパスワードを設定してください" (Please set a new login account and password). The input fields are now "アカウント名 (6~10桁または英字)" (Account Name (6-10 digits or alphanumeric)) and "パスワード (6~10桁または英字)" (Password (6-10 digits or alphanumeric)).

## SSL 証明書

SSL 証明書をインポートできます。

1. 「インポート」をクリックします。
2. 表示された画面の“+”をクリックします。
3. インポートを行う SSL 証明書のファイルを選択します。
4. 「インポート」を選択します。

(注) SSL 証明書のインポート機能はソフトウェア Room Management から有効/無効の切り替えができます。



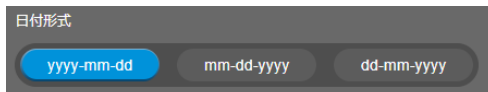
## Displaylink

接続した PC の映像をカメラ本体の HDMI ケーブルから出力する機能の有効/無効切り替えができます。



## 日付形式

システムの日付表示方法を選択できます。



## 時刻形式

システムの時刻表示形式を選択できます。



## NTP を有効にする

システムの時刻を、NTP サーバーからの自動取得を有効にするか、手動で設定するか選択できます。

- **自動**: ネットワーク上の NTP サーバーから時刻を自動的に取得します。

[注] デフォルトの NTP サーバーは米国に設定されています。使用する場所により適切な NTP サーバーを指定してください。



NTPを有効にする

自動 手動

NTPサーバー タイムゾーン NTP Update

pool.ntp.org UTC-12:00



NTPサーバー タイムゾーン NTP Update

pool.ntp.org UTC-12:00

時刻

2020/1/1 19:40

- **手動**: 設定する年/月/日 時:分を入力し、適用をクリックすると、設定内容が保存されます。



NTPを有効にする

自動 手動

時刻

2020/1/1 19:41



時刻

年 / 月 / 日 時 : 分

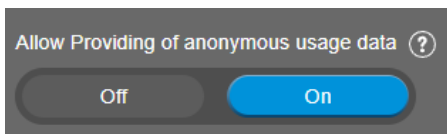
2020 01 01 19 41

適用

## 匿名利用データの提供を許可

この機能を有効にすることで、AVerの製品とサービスを継続的に改善することができます。詳しくはAVerのプライバシーポリシーをご覧ください。 <https://www.aver.com/privacy>

システム > 匿名利用データの提供を許可 > オフまたはオンを選択



## 情報

カメラの各情報(ファームウェアバージョン・製造シリアル番号・IP アドレス・MAC アドレス)が表示されます。

Information		
Model Name	Firmware Version	Serial Number
VB350	0.0.8200.06	5100410500002
IP Address	MAC Address	
10.100.90.41	00:18:1A:0C:4F:74	

## オーディオ



PTZ操作

設定

ビデオフォーマット

ネットワーク

システム

オーディオ

ノイズ抑制

オフ オン

ノイズ抑制の強度 (1~40)

20

ビームフォーミングマイク

オフ: マイクはすべての音声を集音します。オーディオフェンスは無効です。  
オン: マイクはメインスピーカースピーカーの音を強調し、それ以外の音声を減退させます。

オフ オン

AGC (自動ゲイン調整)

オフ オン

エコークャンセル

オフ オン

キーボード音低減

オフ オン

PHONE IN端子

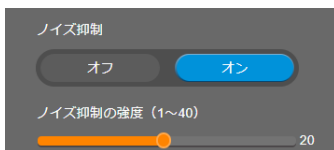
PHONE IN PHONE IN端子 (マイクのみ) PHONE IN端子 (マイクMIX) LINE OUT

注意事項

LINE OUT機能は、主にHA (Hearing Augmentation) システムとの接続を想定しています。接続を実施するには別売の変換アダプタ (TRSメス-TRRSオス) スピーカーの音が、内蔵スピーカーやマイクの性能に影響を与えることがあります。

## ノイズ低減

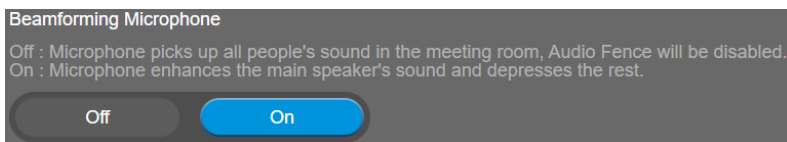
ノイズサプレッションのオン・オフ切り替え、処理強度を 1～40 の間で調整できます。



## ビームフォーミングマイク

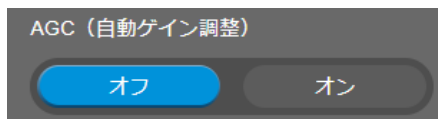
マイクのビームフォーミング機能のオン・オフを切り替えられます。

- **オフ**: マイクはすべての音声を集音します。オーディオフェンスは無効です。
- **オン**: マイクはメインスピーカーの音を強調し、それ以外の音声を減退させます。



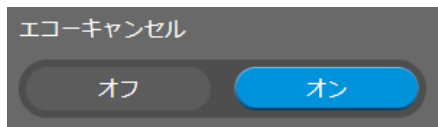
## AGC (自動ゲイン調整)

自動ゲインコントロールを有効/無効にします。



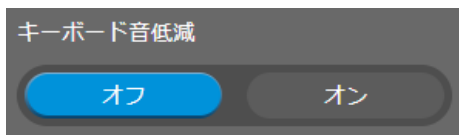
## エコーキャンセル

エコーキャンセル処理を有効/無効にします。



## キーボード音低減

マイクで集音されたキーボード操作音の低減処理を有効/無効にします。



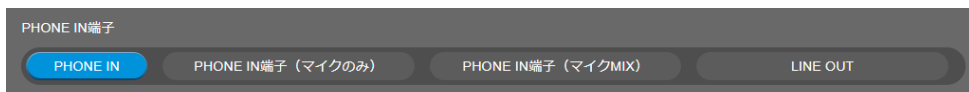
## PHONE IN 端子

### PHONE IN 端子の設定

- **PHONE IN(マイクのみ)**  
PHONE IN 端子に接続された外部マイクの音声のみを使用します。このモードでは内蔵マイクは無効化されます。
- **PHONE IN(マイク MIX)**  
PHONE IN 端子に接続された外部マイクの音声と、本体内蔵マイクの音声が入り混じった音声を出力します。
- **LINE OUT**  
主に補聴支援システム (HA: Hearing Augmentation) との接続に使用します。  
それ以外の用途ではご利用いただけません。

**接続方法:** 別売の変換アダプター (TRS メス - TRRS オス) が必要です。


**注意:** このモードを選択時、外部スピーカーを接続しないでください。外部スピーカーからの出力音が、内蔵マイクの收音性能やエコーキャンセラーの動作に悪影響を及ぼす可能性があります。

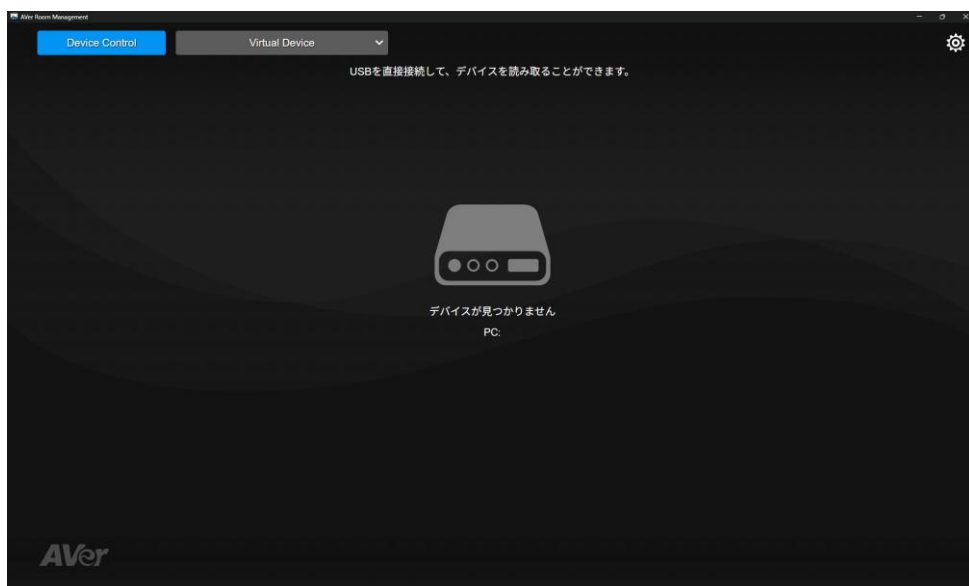


## Room Management のインストール

本製品はプラグアンドプレイにより動作し、専用ドライバーの追加インストールは不要ですが、[Room Management](#)にて、USB ケーブルで接続した PC からカメラの設定変更を行うことができます。Web 管理画面と同様の設定項目が表示され、各設定の変更を行うことができます。

## ソフトウェア Room Management を使用する

1. カメラを使用する Web 会議ソフトウェアを起動します。
2. Web 会議中、Room Management を使用しカメラのパン・チルト・ズーム、ビデオの詳細設定を行うことができます。(注: Web 会議でカメラ映像出力時、Room Management のプレビュー映像は表示されません)
3. Room Management (  ) を起動すると、Web ブラウザが自動的に起動し、メニュー画面が表示されます。



4. ソフトウェアがカメラを認識すると、カード形式で接続中のカメラが表示されます。

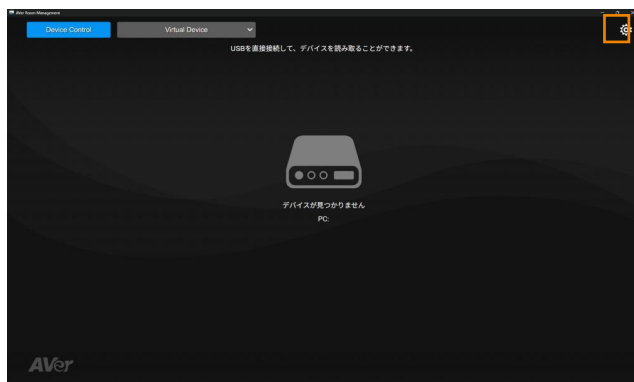


5. IP アドレス横の鉛筆アイコンをクリックするとカメラの IP アドレスを変更できます。

[注] デフォルト IP アドレスは DHCP に設定されています。固定 IP アドレスの場合、鉛筆ボタンをクリックし、使用する IP アドレスを入力します。

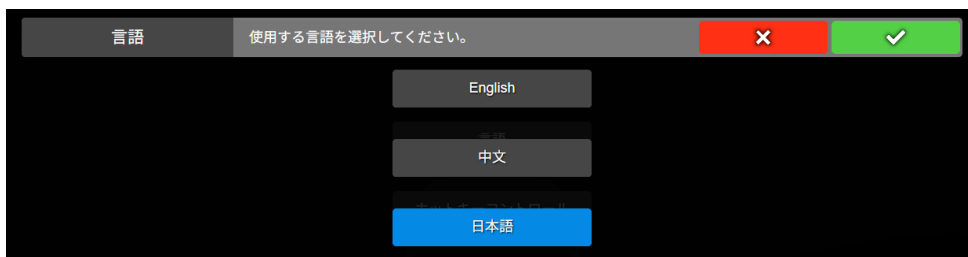


6. メニュー右端の歯車アイコンをクリックすると、カ使用言語、ホットキーの確認、ソフトウェアの更新メニューが表示されます。





- **言語:** Room Management の表示言語を選択します。



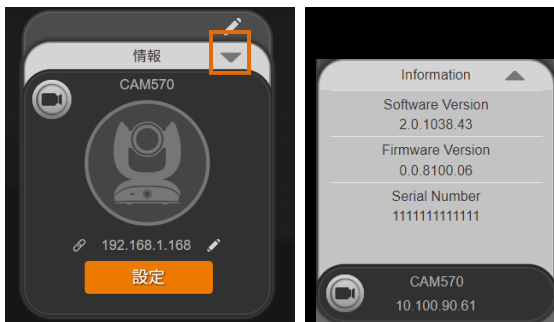
- **ホットキーコントロール:** パソコンのキーボード操作により、カメラの操作や設定変更を行うホットキーコントロールを有効または無効にします。



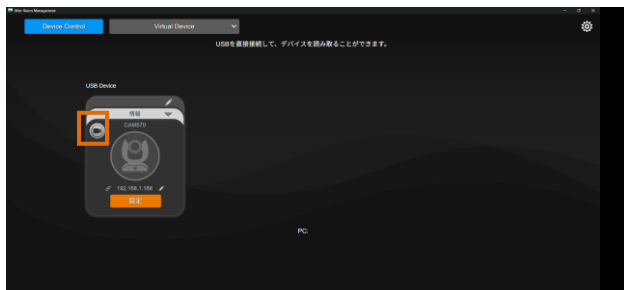
- **Room Management 更新:** ソフトウェアのバージョン/更新を確認できます。  
新しいソフトウェアバージョン公開時、この項目からソフトウェアの更新を行うことができます。







7. **Information:** 表示されたカードの上にある▼マークをクリックするとカメラの詳細情報が表示されます。



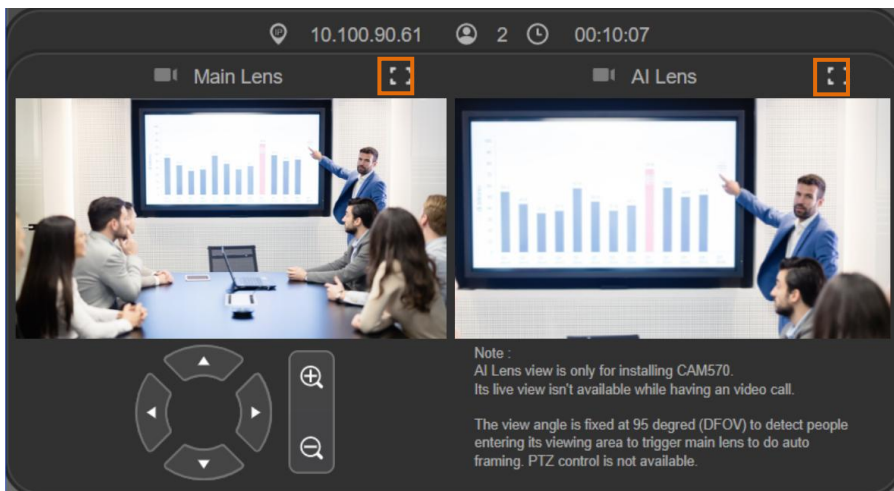
8. **カメラ:** カメラのアイコンをクリックすると、カメラのライブビューとIPアドレスが表示されます。カメラのライブビューを閉じるには、X アイコンをクリックします。  
このライブビューの解像度は、640x480 固定です。




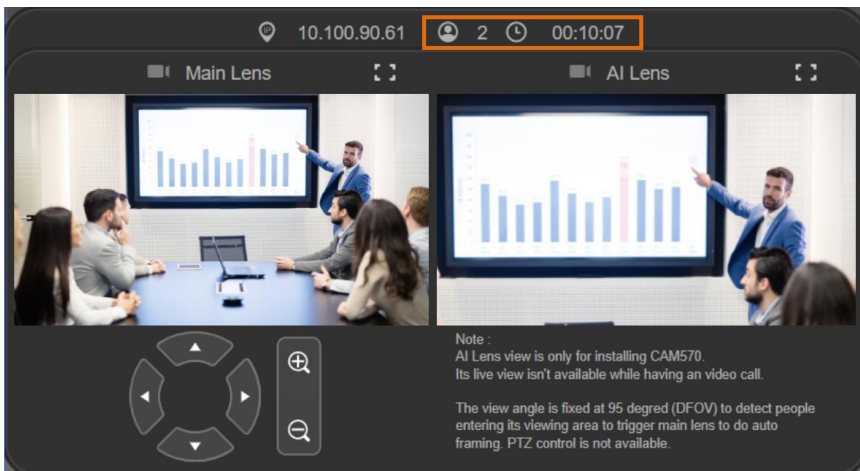
フルスクリーン表示: “ 

” アイコンをクリックすると、カメラ映像の全画面表示になります。全画面表示の状態では “ ” アイコンをクリックすると元の画面に戻ります。

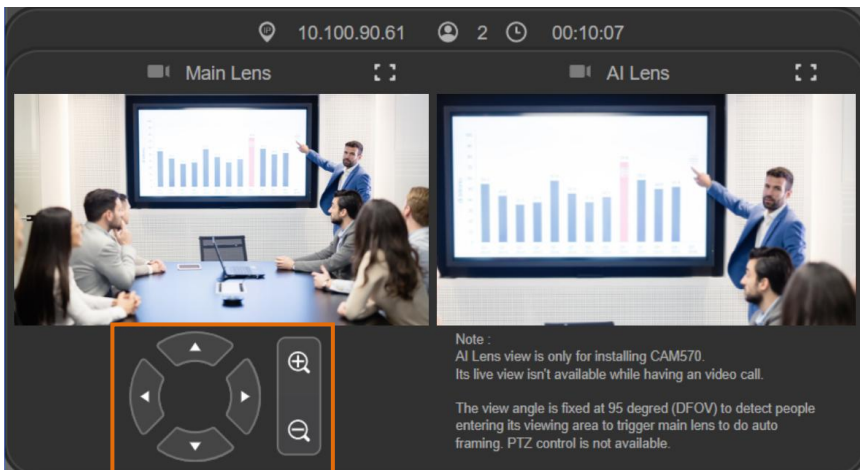
※ プレビュー映像のビデオ解像度は 1080p/ 30fps 固定です。



- **人数カウント・カメラ起動時間:**  アイコンをクリックすると人数カウント・カメラ起動時間が表示されます



- **カメラ操作ボタン:** カメラのパン・チルト操作・ズームイン・アウト操作を行うことができます。



9. **設定:** オレンジ色の“設定”をクリックすると、

Web 管理画面と同様の設定画面が表示され、カメラの詳細設定を行うことができます。

